

事業内容及び成果の概要

1 事務事業の目的

し尿、雑排水及び汚泥の収集・運搬・処理をすることにより、公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

2 執行状況及び成果

家庭系は原則月1回定期的に、また仮設トイレ等は随時に収集運搬し、湖南衛生組合で処理をした。

(1) し尿処理

・ 処理世帯	34	世帯
・ 年間処理	158.5 kl	・ 1月平均 13.2 kl ・ 1日平均 0.4 kl
・ し尿収集運搬業務委託		
し尿収集運搬	25,091,775	円
し尿従量収集	1,313,014	円

(2) 浄化槽清掃

・ 清掃件数	55	件
・ 汚泥収集量	183.3	kl

(3) 湖南衛生組合分担金

29,563,000 円

(資源循環課)

1 事務事業の目的

廃棄物の発生を抑制し、リサイクル推進等、廃棄物の適正処理を行うことにより、もって資源循環型社会の構築を目指すことを目的とする。

2 執行状況及び成果

不燃性資源と可燃性資源をそれぞれ週1回収集し、リサイクルセンターや清掃事務所等で選別・圧縮等した後、再資源化事業者への売却や引渡しを行った。白色トレイ及び紙パックについては、スーパーや公共施設において拠点回収により再資源化を行った。

・資源処理量 9,767 t (単位:t)

品 名	処 理 場 所	処 理 量
アルミ缶、スチール缶、生きビン、カレット、繊維類、ペットボトル、その他プラスチック、キャップ、剪定枝、鍋、やかん	リサイクルセンター	4,000
優良粗大家具	リプレこだいら	24
白色トレイ、紙パック、有害性資源、スプレー缶、ガス缶、ライター	清掃事務所	119
紙類(再資源化事業者へ直接搬入)		5,444
金属類(再資源化事業者へ直接搬入)		78
生ごみ一次処理物(再資源化事業者へ直接引渡し) ※食物資源資源化推進事業		33
食物資源(生ごみ)(再資源化事業者へ直接搬入) ※食物資源資源化推進事業		61
陶磁器(清掃事務所で保管後、再資源化事業者へ搬入)		5
小型家電(清掃事務所で保管後、再資源化事業者へ引渡し)		3

主な事業

(1) 小平市廃棄物減量等推進審議会・推進員の運営	1,086,000 円
(2) 資源物収集運搬業務委託	287,362,080 円
(3) 容器包装再商品化業務委託	1,008,340 円
(4) トレイ等再資源化業務委託	8,269,844 円
(5) 家電リサイクル法適用4品目の不法投棄処理	140,447 円
(6) 剪定枝収集運搬再資源化業務委託	2,246,483 円
家庭や公共施設から排出された剪定枝を収集した。	収集量 48 t
(7) 小平市ごみ減量推進実行委員会事業補助金	2,000,000 円

次ページへ続く

事業内容及び成果の概要

前ページより続く

・事業実績

事業名	開催時期	概要	延べ参加人数等
ごみゼロフリーマーケット	5月	ごみゼロを目指したフリーマーケット	約2,000人
こだいら環境フェスティバル	9月	市民・事業者・行政が一体となつてつくる環境に関する意識啓発のイベント	約6,300人
リサイクルきやらばん	7・11・1・3月	陶磁器をはじめとする資源物の拠点回収	※欄外参照
ダンボールコンポスト講習会	6月	ダンボール箱を活用した堆肥化容器の使い方講習	29人
不要傘から作るマイバッグ講習会	7・3月	不要になった傘の生地を利用したマイバッグ作り講習	19人
食物資源堆肥化講習会	10・11月	密閉バケツを使った堆肥化の講習	26人
廃油から作るせっけん講習会	10月	使用済みの油を使ったせっけん作りの講習	13人
リサイクル情報紙 ごみらいふ	9・3月	市民目線で3Rの取組みを取材し発信する広報紙の作成・発行	59,700 (配布世帯数)

※開催場所は、清掃事務所、東部公園、リサイクルセンター、サミットストア上水本町店

(8) 資源回収団体補助

15,905,432 円

自主的に資源を回収する地域団体等へ、回収実績に応じて補助金を交付し、資源収集の効率化とリサイクル意識の高揚を図った。

・補助金交付団体 116 団体

品名	補助単価	回収量(kg)	補助金交付額(円)
繊維類	7円/kg	78,121	546,847
新聞	9円/kg(回収業務を委託した団体 6円/kg)	764,676	5,802,156
雑誌類		536,809	3,917,076
ダンボール		571,476	4,664,397
牛乳パック	9円/kg	8,791	79,119
金属類	7円/kg	12,616	88,312
生ビン	7円/本	0	0
カレット	7円/kg	0	0
アルミ缶	25円/kg	32,301	807,525
合計		2,004,790	15,905,432

(9) 団体資源物回収業務委託

2,920,918 円

資源回収事業者に対し資源物の引取り業務を委託することによって、資源回収団体の負担を軽減し、集団回収の推進を図った。

(10) 陶磁器リサイクル選別運搬再資源化業務委託

850,161 円

年2回のイベント回収と年4回の拠点回収を行い、一部をイベントで販売(リユース)するほか、再資源化事業者へ引渡し、資源化を図った。

・引渡し量 5 t

(資源循環課)

事業内容及び成果の概要

1 事務事業の目的

リサイクルセンターで資源の選別・圧縮等の再資源化のための中間処理を行うほか、リプレこだいらで優良粗大家具等の展示販売を行い、資源の有効利用を図ることを目的とする。

2 執行状況及び成果

(1) リサイクルセンターの管理運営 12,172,025 円

アルミ缶、スチール缶、生ビン、カレット、繊維類、ペットボトル、プラスチック容器等の選別・圧縮処理等を効率的に行い、再資源化事業者へ引き渡した。 ・見学者数 7 回 延べ 195 人

(2) 資源選別・再資源化業務委託 131,661,136 円

・資源処理量 9,767 t

(単位:t)

品 名	処 理 量	品 名	処 理 量
ア ル ミ 缶	284	剪 定 枝	48
ス チ ー ル 缶	196	紙 パ ッ ク	8
生 ビ ン	61	白 色 ト レ イ	2
カ レ ッ ト	1,215	有 害 性 資 源	72
紙 類	5,444	スプレー缶・ガス缶	35
繊 維 類	894	ラ イ タ ー	2
ペ ッ ト ボ ト ル	597	金 属 類	78
その他プラスチック	679	生ごみ一次処理物	33
キ ャ ッ プ	9	食 物 資 源	61
鍋 ・ や か ん	17	陶 磁 器	5
優 良 粗 大	24	小 型 家 電	3

※紙類のうち、リサイクルセンター持込分は 18 t

※優良粗大は、リプレこだいらで再生販売

※紙パック、白色トレイ、有害性資源、スプレー缶・ガス缶、ライターは清掃事務所で選別

プラント稼動日数

ビン類 106 日

カン類 102 日

ペットボトル 248 日

プラスチック容器 202 日

(3) リプレこだいら

粗大ごみとして出された優良粗大家具は、シルバー人材センター会員が補修・展示を行い、安価に販売することで再利用を図った。

(資源循環課)

1 事務事業の目的

食物資源(生ごみ)の分別収集及び堆肥化の推進、食物資源(生ごみ)一次処理物由来堆肥等の資源化を推進し、また、試験ほ場での利用による農作物への有効性の検証を実施することにより、資源循環型社会の実現を目指すことを目的とする。

2 執行状況及び成果

(1) 食物資源循環業務委託

9,926,064 円

家庭から出る食物資源(生ごみ)を分別収集し、堆肥化工場に運び、堆肥化した。

・引渡し量 61 t

・参加世帯数 950 世帯

・収集日数 102 日

(2) 剪定枝チップ再資源化業務委託

3,472,778 円

チップ車により破碎した剪定枝チップを食物資源(生ごみ)と混合し堆肥化した。

・堆肥化量 107 t

次ページへ続く